第９回金浦中ブロック小中一貫教育校整備検討委員会会議録

日 時　 令和６年２月１６日（金）１４時００分～１５時５５分

場 所　 笠岡市中央公民館　２階　教育委員会会議室

会 議 日 程

１　開　　会

２　あいさつ

３　議　　事

（１）新校舎の建設場所について

（２）必要諸室について

（３）各階平面図について

４　閉　　会

出席者

（委員長）佐々木伸子

（委員）　池田哲哉　筒井清人　山下恭司　高木浩志　大重義法　徳山功一

　荒川光平　梅木芳江　守屋裕子　枝廣あずさ　塚本知佳　花本弥生

（事務局）

教育長　　　　　　岡田達也

教育部長　　　　　森山一成

教育総務課　　　　課長 松尾千鶴　　課長補佐 藤代幸弘　　主幹 福本彰弘

学校教育課　　　　課長 槙野英一　　参事 後藤嘉孝

教育改革推進室　　福尾雅俊

建設部都市計画課　竹内一成

１．開会（１４時００分）

事務局が第９回「金浦中ブロック小中一貫教育校整備検討委員会」の開会を宣言。

２．開会のあいさつ

教育長が開会のあいさつをする。

３．議事

　　委員長が議事進行

（１）新校舎の建設場所について

事務局　　　　　「松川川に係る砂防事業について」岡山県備中県民局建設部による地元説明会が，１月３０日に金浦中の近くの集会所で開催され，令和１１年の完成に向けて準備が進んでいるようなので，情報共有したい。今後，小中一貫校の建設場所が確定して以降，設計等を始めるわけだが，そういった中で，金浦中の北東にある安原川についても，地元の同意を集めて県に砂防ダムの設置などについて，要望をしていきたいと考えている。また，松川川の砂防事業など，学校の安全面で何か動きがあったら，その都度，委員の皆様に情報提供できればと思っている。

　　　　　　　　「Ａ１案　配置図」「Ｂ１案　配置図」に基づき説明。

　まずは，Ａ１案とＢ１案で，新校舎の建設場所の検討をしていただきたいと思っている。

前回の会議で，配置比較表により，新校舎を「校庭南側に配置」した場合（Ａ１案のエリア）と「南棟・屋内運動場南側に配置」した場合（Ｂ１案のエリア），この２つの配置場所のメリットとデメリットを詳細に前回の会議で説明した。

委員の皆様からは，Ａ案を推すご意見を多数いただいた。Ａ案がいいと言う委員からは，「小学生が中学生を怖がるのではないか」「中学生が勉強しているときに，小学生が騒いで邪魔になるかもしれない」などの理由から，「小学校棟と中学校棟をあまり近くにしない方がいいのでは」「小学校棟からグラウンドが見える方がいい」「学校全体の子どもたちの様子を把握し，対応しやすい」などのご意見があった。また，Ａ案・Ｂ案どちらにも共通することだが，今後検討が必要な事項として，「小学校棟と中学校棟が離れるので，教職員の連携が取れるのか」「中期である「小学校５・６年生と中学校１年生」の部分を，９年間の中にどのように位置づけて教育をしていくのかが重要であり，そうなってくると既存校舎と新校舎の中期の部分が，どういった形で一体的に動くことができるのか」という意見があった。

前回は建設可能エリアのみを示した上で，Ａ案というご意見が多かった訳だが，今回は校舎の配置場所について，具体的に図面に配置している。Ａ１案とＢ１案の資料をもとに，皆様からご意見をいただきながら，Ａ案かＢ案，新校舎をどちらに建設した方がいいかをまず検討していただければと思う。その後で，周辺の施設「児童クラブ」「駐車場」「テニスコート」などの配置について，ご意見をいただければと思うので，まずは新校舎の建設場所についてのみのご議論をいただければと思う。

【Ａ１案について】

グレーの網掛け部分が新校舎建設場所になる。この案の一番の特徴としては，職員室を新校舎の校庭近くに配置することで，職員室から学校全体が見渡すことができるようになること。また，図書室を一貫校の交流拠点としたいと考えているため，２階に図書室を配置することとしている。これは，小学校からも中学校からもアクセスしやすいよう，既存校舎に近い場所に図書室を配置したものである。

体育館については，昨年度策定した「基本計画」では，別棟で計画していたが，新校舎の２階部分に一体型の体育館を配置したいと考えている。

体育館を一体とした理由としては，「既存の中学校棟からの距離をできるだけ短くすることで，小学校・中学校双方からアクセスしやすくなるため」「別棟の体育館を建設した場合，新校舎や低学年のあそび場などが日陰になってしまうこと」「校舎以外の部分について，少しでも広いスペースを確保すること」が挙げられる。さらに「一体型にすることで，建設コストを低く抑えること」も可能となる。一体型という点はＡ案とＢ案どちらも共通している。

【Ｂ１案について】

既存校舎南棟の南側，既存の屋内運動場の西側に，新校舎を建設する案である。「現在と同じ広さの運動場が確保できる」「既存のテニスコートがそのまま利用可能である」などのメリットがある一方で，「職員室をどこに配置しても，学校全体を見渡すことは難しい」「新設校舎から運動場にアクセスしにくい」等のデメリットもある。

Ａ案と同様に，図書室は新校舎の２階部分の小学生・中学生がアクセスしやすい場所に作りたいと考えている。また，体育館も同様で，一体型のものを２階南側に建設する予定としている。

Ａ案かＢ案，新校舎をどちらに建設するかを，委員の皆様に，まず検討いただければと思う。

委員長　　　　　　ただいま事務局から松川川の砂防事業について説明があった。予定通り，砂防ダム建設に向けた準備が進んでいるようなので，一安心である。事務局からは，今後も何か動きがあったら情報提供をよろしくお願いしたいと思う。

続いてＡ１案，Ｂ１案の説明があった。協議事項としては，まずは校舎を建てる位置，これをＡとＢどちらにするかを決めて，その後，具体的に細かいところを決めていきたいと思う。

今，それぞれの配置のメリット，デメリットの説明があったが，これについて意見や質問があるか。

委　員　　　　　　前回の時に，Ａ案で新校舎を建てる時に嵩上げが必要になると，Ｂ案であると嵩上げが必要でないということだったと思うのだが，その場合に工事費の差はどの程度あるのか。

事務局　　　　　　Ａ案にした場合，嵩上げに９，５００万円かかる。

委員長　　　　　　工事費もあるが，出来上がってからの快適性もあるので，おそらくＢ案はお金は安いが，中は真っ暗な校舎で，窓が取れないし，なかなか都会でもこのような学校はないだろうと。真ん中に窓が取れないので，窓のない廊下が延々と続く校舎になる。ほかに質問がないようなので，Ａ案Ｂ案どちらでということなのだが，挙手でよろしいか。Ａ案・Ｂ案いい方に手を上げて頂ければと思う。まずＡ案がＢ案よりもいいと思う方，挙手してほしい。

≪全員挙手≫

事務局の方はＡ案・Ｂ案を考えてほしいということだったが，全員一致でＡ案となった。お金はきっとかかるが，子どもの環境を考えて，整備検討委員会としてはＡ案で進めさせていただく。

新校舎はＡ案だが，いろいろと周りの物がついてくるので考えなければいけないところがある。では，まずはＡ案の中のＡ１案，Ａ２案の説明をお願いしたい。

事務局　　　　　「Ａ１案　配置図」「Ａ２案　配置図」に基づき説明。

　　　　　　　　　ここでは，新校舎周辺の「テニスコート」や「児童クラブ」「駐車場」などの配置について，検討いただきたい。

　　　　　　　　　Ａ１案とＡ２案は，事務局で作成した案であるため，皆様の意見を伺いながら，この案を修正していき，設計につなげていければと思っている。実現可能なことと，困難なことがあるとは思うが，できる限り意見を反映させたいと思っている。また，業者による設計段階に入った時は，専門家である業者側からいろいろなアイデアや，よりよい提案が出てくるとは思うが，まずは，整備検討委員会で意見を伺いながら，設計に出すたたき台を作っていきたいと思っている。

　　　　　　　【Ａ１案について】

　　　　　　　　「児童クラブ」を新設校舎の南側に配置し，新校舎との間に，低学年のあそび場や遊具スペースを設けている。現在，敷地の南東側にあるテニスコートを，屋内運動場の西側に移設している。メリットとして，「敷地の西側が中学校，敷地の東側が小学校と児童クラブというように，ゾーニングができること」「低学年のあそび場や遊具スペースを広めに配置できるとともに，児童クラブの子どもたちも利用しやすい配置となっていること」が挙げられる。

　　　　　　　【Ａ２案について】

新設校舎の南側は，既存のテニスコートを３面残すようにしており，新設校舎の東側には，遊具スペースを設けることとしている。また，児童クラブは既存の中学校の南側に建設するようにしており，敷地南側に，十分な広さの駐車場を確保することができる。テニスコートを含め，既存施設を最大限に活用することもできる。

　　　　　　　　　Ａ１案，Ａ２案をもとに，新校舎周辺の配置について，皆様から意見をいただければと思う。

委員長　　　　　　ただいまＡ１案とＡ２案について説明があった。

　　　この２案は例として，これをたたき台として皆さんに意見をもらって修正していきたい。この施設はこちらの方がいいのでというような形で検討していきたい。新校舎の中身や教室の配置については，次の議事・報告（３）で協議するので，今の段階はこのテニスコートや児童クラブの位置について意見を伺いたい。こちらの方がいいのではとか，これは悪いのではないかなど。気づかれた部分を，教えてほしい。

委　員　　　　　　Ａ２案で低学年のあそび場はどこになるのか。Ａ１案は新校舎の横にあるが。

委員長　　　　　　あえて言うならばクラブの前に離れて。

事務局　　　　　　低学年のあそび場だが，Ａ２案ではスペース的に狭くはなっているが，新設校舎の東側の遊具スペースを兼ねた所を考えている。面積的にはＡ１案に比べると小さくはなる。体育館の裏側の方などが使えればと思っている。

教育長　　　　　　実質的なことで言うと遊具スペースは変わらないが，狭くなっている。遊具スペースで遊ぶか，屋内運動場の裏側のところ，児童クラブの前で遊ぶか。分散をしてしまうので，管理がしにくくなるかと思う。

委　員　　　　　　小学生にとって，例えば業間休みや昼休みといった時間に，外に出て思いっきり遊ぶというのは本当に大事な事である。よく遊びよく学べということで，今日も私が出張に出てくる時にお昼休みだったが，全校の児童が赤白帽子をかぶって，うわーと出てきてみんなでドッジボールしたり，ボール投げしたり，遊んだりということをするので，そこを大事にしていく必要があると思う。先ほど低学年の遊び場が，Ａ２案の方では取れないから，屋内運動場の西の方に取りあえず回せばいい，そういう発想というのは，そもそも小学生にとっては，かなりまずいんだろうなという風に思う。さらに申し上げると低学年の遊び場と書いてあるが，先ほどの話でいうと低中高学年，６年生であっても出て行くため，そういう場所を確保する必要があるということを付け加えてお話をさせて頂けたらと思ってる。その話というのは校庭があるが，校庭にも小学生は出て行って遊ぶんだと，そういう前提で物事を考える必要がある。例えば，お昼休みでも中学生は200メートルトラックを使う，走っていたりする。じゃあ小学生はどこで全校の子どもたちが遊ぶのかとなったときに，そこが確保されているのかということが，逆に話ができたらと。Ａ１案・Ａ２案ではＡ１案という風になるが，さらに校庭に小学生が出ていって遊ぶことも含めて，検討をしてほしい。

委員長　　　　　　新校舎の小学生低学年が，校庭に出やすくなるようにしている。新校舎が１階で影もできないし，低学年あそび場と校庭のどちらにも行けるようになる。中学年については，スロープを乗り越えて出ていけると。校庭へのアクセスについては，低・中・高学年が出やすい状態は確保できると思う。

事務局　　　　　　便宜的に校庭にトラックを縦に書いているが，これを斜めにすることもできる。そうすれば，小学校の校舎の近くにスペースを設けることができる。校庭の面積は１２，４００㎡となっており，基準により定められている面積よりも，十分広くなる。時間帯ごとにゾーニングするなどもできると思う。

教育長　　　　　　府中学園では運動場はどのように使われているのか。

委　員　　　　　　小学校と中学校は休み時間が違っているが，その点についてもどのように工夫しているか，併せて伺いたい。

委　員　　　　　　府中学園で８年間校長をしていた。その前は２校の校長をしていた。その前は，府中市の教育委員会で府中学園などの学校建設にも携わった。いろいろなことやってみて，初めてわかることも多々あった。小学生の遊ぶ場所，中学生の遊ぶ場所は，状況によって違う。授業の開始時間はそろているので，小学校の先生だから小学校の授業だけに行くというのではなく，中学校に行ったり，逆の場合もある。学校全体で教職員が動いているので，そういう動きができるようにゾーニングしていく必要があるのかと思う。子ども達も，休み時間の長短はあるが，ほぼ同じように学校全体で休憩を取っている。ただ，小学生は外に出て，活発に運動するが，中学生は，小学生よりも時間が短いこともあるが，ほぼ移動に使う時間となる。府中学園は，教科教室になっているので，短い時間のあいだに，例えば美術室から理科室に移動するようになる。そのため，中学生が，小学生のように外に出て遊ぶということは少なかったように思う。小学生も１年生と６年生だと，体力差もあり，すごく違うので，ここからここまでで１年生は遊びましょう，ここの場所を使って６年生は遊びましょうと言った形で，どこでも自由に遊ぶわけではなくて，いくらか活動する，遊ぶ場所を区切っていたように思う。

委　員　　　　　　休み時間がほぼ一緒で，チャイムが違うのか。

委　員　　　　　　チャイムがない時間もある。始まる時間は１年から９年まで同じだが，終わる時間がちょっと違っている。

教育長　　　　　　小学校は４５分で，中学校は５０分。９時にチャイムが鳴って，小学校も中学校も始まった。小学校は９時４５分に，中学校は９時５０分に終わった。２校時目は１０時から始まるといった感じで，調整をしている。始まりでチャイムがなるのと，学校によっては離れているので，２カ所からチャイムが鳴るが，意外と干渉しない。休み時間は，ゾーニングをして。小学校でサッカーなどをする場合は危ないので，ゾーニングを。学校によってはチャイムなしのところもある。いろいろなところを見たが，この３つぐらいが多いと思う。ノーチャイムでも結構子どもたちは動く。金浦中もノーチャイムにしている。

委員長　　　　　　チャイムのことは今後検討できるが，あそび場のことは重要である。トラックの位置をずらすなどして，ゾーニングして子どものあそび場を作ると。

教育長　　　　　　傾向としては，小さい学年は遊具で遊ぶ。そのため，普通教室の前に低学年のあそび場を置いている。中学年から高学年になると集団遊びが増えてくる。中学生はほとんど出ていなくて，集まる場所があって，次の授業の準備をしている。また，図書室に行っている子どもが多い。現状はそのような感じである。

委員長　　　　　　この案なら，あそび場も今後検討して作っていけそうである。

　　　　　　　　　ほかにテニスコート・児童クラブ・駐車場の位置などについて，意見がないか。

委　員　　　　　　Ａ１案がいいと思った。中学校の裏にテニスコートがあることと，学童クラブが小学校の近くにあり，駐車場も目の前にある。私も学童に行っていたが，小学校の校舎と校庭で遊んでいたので，近い方がいいと思う。

副委員長　　　　　先程，テニスコートの位置の話があったが，中学生が使うので，Ａ１案のように校舎の近くにある方がいい。児童クラブは小学校に近い方がいい。

委員長　　　　　　Ａ１案の方がいいという意見が多い。今の話で行くとＡ１案であまり変えるところがない。Ａ１案でという前提でこれから進めていくが，Ａ１案でここは修正した方がいいという部分があるか。トラックはこれから動くかもしれないが。

教育長　　　　　　小学校の体育館を屋内にしていて，これは小中学校の交流スペースとして使う際に，中にあった方がいいからである。府中学園も一体型が一つと，離れて大きいものがもう一つあった。中にあった方が使いやすいかと思ってこのようにしたが，皆さんはどのように思われるか。

委員長　　　　　　次の段階で平面図が出てくるが，小学校の小体育館が外に出ているのではなくて，建物の中に一体になっている。これが最近のトレンドで言うと，都会の多くの学校はこうなっている。授業の延長で，教育の場として使えたり，いろいろな活動で使えるということで，私が最近見ている学校はほぼこの形である。子どもたちの集会などをすべてここでやっている。地域開放も，なかで動線を確保して，非常階段を作って使用できる。一体型でも地域開放をしているケースもある。ただ，それは１階だった。

委　員　　　　　　府中学園では，外にある体育館のみ地域開放をしている。管理的な部分で，外部の方が中に入ってくるということがあるので，内部のアリーナを地域開放していない。そのため，地域開放することを前提に出入口を考えていく必要がある。

教育長　　　　　　現在，中学校の体育館は地域開放している。できるだけ，いろいろな人で集うようにしたい。非常階段という案もあるので，そのあたりを検討していきたい。

委員長　　　　　　地域開放はセキュリティーの問題が伴うので，ロックをかけられる扉を設置するよう計画段階から入れればいい。動線は別階段が必要だと思うが。後ではできないが，計画段階から入れておけば，可能である。府中学園のようにすべてがオープンであるようなものは難しいと思うが。この案ではちょうど端に体育館が来ているので，物理的にいけるのではないかと思う。

委　員　　　　　　トイレが中にないと，地域開放しても困る。そういったことも考えた方がいい。

教育長　　　　　　今後，そういったことも含めて検討していきたい。

委　員　　　　　　嵩上げをしたときに，細い線が描いてあるが，ここの部分が高くなるのか。２０分の１のところは坂になるのか。私は，嵩上げしなくても，校舎に入るとき，階段をつければいいのかと思う。

事務局　　　　　　建物周りと，低学年あそび場を含めて，嵩上げするようにしている。児童クラブもあるので，このあたりも上げる方がいいと思っている。

委　員　　　　　　この案で行くと，一般駐車場が低く，児童クラブと低学年あそび場が高くなっている。それが１ｍぐらい高くなるとのことだが，そこに擁壁ができることになるのか。

事務局　　　　　　擁壁となり，何か所か階段を設ける。勾配のところはスロープとなる。

委　員　　　　　　１ⅿなら，フェンスも必要ではないか。

教育長　　　　　　安全面も考えたら，手すりのようなものを検討する必要がある。子どもたちが遊んだりするところは嵩上げをした方が皆さん安心されるかと思う。

委　員　　　　　　校舎に入るときに階段を上って入ればいいのではと思った。

委　員　　　　　　グラウンドを嵩上げする話ではないのか。

教育長　　　　　　校舎を建てる部分を嵩上げする計画である。北東の土砂災害警戒区域にかかる部分は，擁壁を作る予定である。今も３０㎝から６０㎝高くなっているが，そこに擁壁を作りたい。もし土砂がそれを超えても，そういった時は，子どもたちは南側の校舎のところに来ているので。嵩上げをして，土砂災害と浸水対策をするということで作った案である。

委員長　　　　　　どこまで嵩上げするかとか，手すりが必要ということは，これから検討することになると思う。手すりができるエリアを全部階段にしてしまえば，手すりはいらない。

事務局　　　　　　そのあたりは設計の中で意見を反映していきたい。

委員長　　　　　　私が今まで見たところは，法面のところは植栽して子どもが行かないようにして，階段のところと分けてとしていた。緑を植えたら，乗り越えることができないので。

事務局　　　　　　委員長が言われるように，方法としてはいろいろあると思うが，安全面を確保できるように設計する中で検討したい。

委員長　　　　　　これはとてもいい場所だと思う。階段にすれば，子どもたちが座ることができる。休み時間も過ごせる。みんなの様子も見れる。

委　員　　　　　　私もＡ１案がいいと思う。統合したときに，２５０から２７０人ぐらいになると思う。現在笠岡小学校のグラウンドがどれぐらいの広さかということで，２５０人がすべてグラウンドに出たときに，１２，４００㎡をほぼ使うことになるのか。それで足りているのかどうかが，気になる。城見小学校は，６，５００㎡で全員が外に出ると，手狭なのは手狭である。全校が入り混じって遊んでいて，微笑ましく見ているが，１２，４００㎡が小学校の児童数を見たときに，足りているのか。

教育長　　　　　　国の基準で言うと十分にクリアしている。金浦中の運動場は，笠岡小よりも広いので十分な面積ということで計算している。

事務局　　　　　　国の基準では約７，０００㎡を上回ればいいとなっている。広ければ広いほど，子どもたちがのびのび遊べる。小中併せて１２，０００㎡あれば，国の基準よりは面積を取れる。

委　員　　　　　　上の遊具スペースもあるが，下の低学年のあそび場だけでなく，グラウンドにもいくつか遊具があると交わりながら遊ぶということができる。低学年と上の学年をずらすのも大切なことだが，交わる場も必要と思うので，そのあたりも検討してほしい。

事務局　　　　　　遊具をどこに配置するかも設計の中で行うように，そういった意見を反映しながら，配置について検討したい。

委　員　　　　　　小学生が登校するときにどこから敷地内に入ってくるのかだが，北側の門から中学生と小学生が入るとなると，中学生は自転車であり，小学1年生もいるとなると，小学生と中学生の門を区別する必要があるのではと思う。実際どこの道をどう通って，通学させるかということもあるが，例えば東側のフェンス沿いに小学生が入ってくる通用門ができないのかと思う。

委員長　　　　　　現段階では，小学生・中学生が北側の門を使うという設定であるが，如何か。

教育長　　　　　　スクールバスと徒歩の時間帯が集うので，南門からスクールバス，北門から徒歩と自転車とは考えている。通学路については，検討委員会を立ち上げて，検討していくことになる。

委員長　　　　　　可能性としては，東門を作ることも考えられる。

委　員　　　　　　スクールバスは城見小と陶山小を予定しているのか。

教育長　　　　　　５台ぐらいを予定している。

委　員　　　　　　金浦小の子どもはどうなるのかということである。南側から通ってきて，ぐるっと回って，北門から入ることになるのか。北側に住んでいる子どもは北門がスムーズである。通学路をどう設定するかによって，校門の位置を柔軟に考えられるように，ある程度幅を持たせておいた方がいいと思う。

教育長　　　　　　東側の道について，入口のところに用水路があって狭くなっているという課題もある。そういった道の広さも検討が必要。現在，金浦中の先生たちは，東側と西側の道を通って，通勤をしている。地域の方も通るので，安全を第一に考えることになる。

事務局　　　　　　東側の道を歩かせると，ちょっと狭いというのがあるので，道を広げる必要があると思う。そうなると，学校の敷地の一部を歩道として取り込まないといけなくなる可能性がある。

教育長　　　　　　今現在，事務局としては，東側と西側の道を通学路として活用しないように考えている。南から農免道を横断するには横断歩道が必要であるが，ここはどちらも横断歩道がない。そのため，少し離れた横断歩道を通って，北側から入ってくることを想定している。今いただいたご意見をもとに，今後，検討してみる。

委　員　　　　　　たくさんの子どもがいっぺんに学校にくることは，スクールバスもあるし，想定しにくいのではと思う。小学生と中学生の学校にくる時間というのが違うので，どちらかというと小学生は歩いてくるので，集団登校で早く学校にくる。そのあとゆっくり来るのが，中学生。府中学園ではそういう様子が見られた。一度に校門に集中するといったことはなかったように記憶している。複数の入口があったことも影響しているかとも思う。学校の開始時間や，子どもたちの登校時間を研究してみることも大事だと思う。

委　員　　　　　　小学校の児童は，大体何時ごろ登校しているのか。この時期，中学生は早い子どもで７時５０分。７時５０分から８時２０分のあいだに，多くの生徒が来る。小学校がそれよりも早かったら，そんなに重なることはないのかと思う。中学校は朝練もないので。

委　員　　　　　　今の時間帯で言うと，重なる。小学校では，７時４５分ぐらいに一番早い児童が来る。そのあと，８時１５分までに学校に入る。７時４５分から，８時５分ぐらいまでにたくさんの児童が登校する。

委　員　　　　　　時間が重なるだけでなくて，金浦小学校の小さい子が，北側の門まで歩いていくとなると結構な距離がある。そこを考えてあげないと，かわいそうかと思う。生江浜の２号線の南側からすれば，とてつもない距離になるので。少しでも近くに校門があった方が，小学生の負担は少ないと思う。

委員長　　　　　　小学校の校門という点で，今後検討していこうと。

　　　　　　　　　今の意見をまとめると，Ａ１案をベースということで，テニスコート・児童クラブ・駐車場というのは概ねここで問題なく，道路からのアクセスについて今後検討するということで進めてほしい。

（２）必要諸室について

事務局　　　　「資料１　必要諸室リスト」に基づき説明。

これまでの整備検討委員会で皆様にご意見をいただき，必要諸室について基本計画にまとめたが，既存施設の有効活用や，使用頻度を考えて，一部修正をさせていただきたいので，説明したい。

　　　　　　　【小学校部門】

・トイレを小１小２と小３小４でまとめ，各階に多目的便所が一体となったトイレを設置する。

・更衣室は，一体の小体育館の中に設置する。

・多目的スペースは小１～小４に設ける。

・昇降口は職員来客用玄関と一体とする。

・少人数教室は２室とする。

【中学校部門】

・数学教室，外国語教室の教科教室を基本計画では各２室としていた

　が，利用頻度等を考慮し，各１室とした。

・中学校用の少人数教室を３部屋追加した。

【共用（特別教室）】

・小学校用の図工室について，既存施設の有効活用を図るため，既設の美術室と兼用とする。

・美術準備室・家庭科準備室は，利用頻度が低いため配置せず，渡り廊下の接続場所とする。

・展示室は，利用内容・頻度から，ＰＴＡ・ボランティア室兼用とする。

　　　　　　　【共用（管理諸室）】

・印刷室，給湯室は事務室一体とする。

・給食用のコンテナ室について，小学校用を中学校用とは別に設置する。

・職員・来客トイレは，既設校舎のトイレをそのまま残す。

・多目的トイレは，生徒用トイレと一体とする。

・職員来客玄関は，小学校昇降口と一体とする。

・児童・生徒会室は，利用頻度から小会議室と兼用とする。

・ＰＴＡ・ボランティア室は，利用頻度から展示室と兼用する。

　　　　　　　【小学校体育施設】

・校舎と一体型での体育館を配置する。

・既設中学校屋内運動場ステージの使用頻度が少ないことから，小学校屋内運動場ステージは不要とする。放送室についても，ステージがないため不要とする。

・校舎一体となるため，教官室（倉庫）・玄関を不要とする。

・小体育館近くにトイレがあるため，体育館内のトイレは不要とする。

　　　　　　　【全体】

・新校舎（小体育館を含む）…室数３７室，延べ面積約４,２５０㎡

・既存校舎南棟…室数２８室，延べ面積約２,６７０㎡

・既存校舎北棟…室数２５室，延べ面積約２,２５０㎡

→合計室数９０室，校舎合計延べ面積は約９,１７０㎡

委　員　　　　　　小学校のトイレの数が減ったとのことだが，床面積の都合で減らした

のか。

事務局　　　　　　数としては減っているが，１つ１つのトイレの面積が大きくなっているので，全体の面積は同程度である。

委　員　　　　　　たくさんの子どもが一度に行くことを考えると，２学年に１つぐらいはあった方がいい。

事務局　　　　　　２学年に１つとしている。あとで平面図の説明をする。

委　員　　　　　　小学校のアリーナにステージがない。いろいろな場面でステージを使うのだが。

事務局　　　　　　小学校のステージの利用状況を教えてほしい。

委　員　　　　　　陶山小では結構使っている。学芸会の在り方が変わってきており，ステージがなくてもフロアですることもできるが，式があるときステージがあった方がいい。平面でもできるが。

事務局　　　　　　先日，京都府の亀岡川東学園に視察に行った。小学校と中学校が一緒になった義務教育学校である。川東学園では中学校の体育館のステージを取り払って場所を広めにとっている。小学校の体育館にはステージをつけている。さびわけをしている。どちらにもステージがあった方がいいが，使い分けをすることによってコストを下げるということもあるし，スペースを広げるということもある。ステージを作るとどうしても狭くなるので，工夫して使っている。そういった意味合いもあり，ステージ無しにしている。

委員長　　　　　　中学校の体育館にステージがあるので，小学校は無くして，広めにとっているということである。

教育長　　　　　　将来的には義務教育学校としてスタートしたいと思っているので，基本的に式典関係は，小学校関係も含めて，中学校の体育館で行いたい。小学校棟に新しく作る体育館は，交流スペースとして使ったり，体育や運動をするだけのところにしようという考えの中で，少しでもコストを下げるように，嵩上げのところにも必要になるため，考えた案である。先程，屋内体育館にトイレ設置の話も出ていたので，そのあたりも考えると。

委員長　　　　　　今後，設計段階で，アリーナの具体的なことは，今のステージに関しても検討していくことになると思う。

事務局　　　　　　舞台についてはあれば便利だというのはわかるが，使用頻度を考慮して，中学校の方を利用していただき，使い方のさびわけをしていくように考えている。

委員長　　　　　　必要諸室については，次の「各階平面図について」の説明を聞いていただき，ご意見をいただきたい。

（３）各階平面図について

事務局　　　「議事３　各階平面図」に基づき説明。

　　　　　　　（プロジェクターで平面図を映写し，ポインタを使って説明）

　　　【参考資料２，Ａ案　１階　平面図】

・Ｔ字の校庭に面した東西に前期の小学校１年，２年の教室と昇降口，南側部分に小学校３年，４年を配置し直接校庭に出る位置としている。

・基本計画の平面案と同様に，各学年の前には多様な授業スタイルに対応可能な多目的スペースを配置。

・小学校１年２年の教室にはクールダウンスペースを配置。南側には多目的スペースから直接出られる低学年の遊び場を設けている。（クールダウンスペースとは，興奮した子が一人でいて落ち着くための部屋）

　　　　・Ｔ字の交差部分に不登校の児童に対応するための別室を配置。

・上の階に上がるための階段とエレベーター室は，建物の中心となるＴ字の交差部分に配置。

・Ｔ字の北側部分は職員室等の管理諸室とし，新設校舎と既設校舎の両方にアクセスしやすく，校庭を含め全体を見やすい位置としている。

・南門の近くに小学校用の給食コンテナ室を配置。

・便所について，Ｔ字の中心部分の便所②が，小学校１・２年用の便所。南側部分のコンテナ室の横に，便所①として小学校３・４年用の便所を配置。

・新設校舎から既設校舎への接続は，既設南棟と屋内運動場の間を通って南棟の開放廊下に繋がっている。

・既設の南棟は，中期の小学校５・６年と中学校１年生を配置し，中期の交流と繋ぐ教育をしやすい位置としている。

・北棟には，９年間をつなぐ中級指導室やプライバシーが守られる相談室，また地域の伝統や歴史を学んだり地域学での成果物を掲示したりする展示室を配置。なお，展示室は，地域や保護者の方が集い子ども達を見守ることが出来るＰＴＡボランティア室の機能も備えている。

【参考資料３　Ａ案　２階　平面図】

・既設中学校校舎に近く，新設校舎と既設校舎の中間位置になる北側部分に，交流拠点としての機能を持った図書スペースを配置。

・小学校１・２年の教室や校庭が見える位置に，少人数教室や特別支援学級を配置。

・校舎一帯の小体育館を南側に配置することで，小学校からも中学校からもアクセスしやすく，異学年交流や学年集会等に対応する為の多目的スペースとしての利用も可能としている。

・体育館アリーナに便所はないが，すぐ近くに便所③を配置。

・アリーナの下に更衣室を２箇所配置。

・既設の南棟について，既設調理室を小中兼用の家庭科室としている。また，教科教室，特別支援学級と少人数教室，更衣室を配置。

・既設の北棟について，後期の中学校２・３年生を配置。

・新設校舎から既設校舎への接続は，１階と同様に既設南棟と屋内運動場の間に新設の渡り廊下を設けて開放廊下に繋がっている。

・既設校舎に新設する渡り廊下は，基本計画では北棟と南棟の東側の階段室で接続していたが，距離も長く形状も直線的ではなかったため，できるだけ短く直線的となるように，接続位置を見直している。この関係で，美術準備室と家庭科準備室部分がなくなっている。新設渡り廊下により，新設校舎と既設校舎がバリアフリーで接続される。

【参考資料４　Ａ案　３階　平面図】

・階段室，エレベーター室のみとなる。

・既設の南棟は，技術室を小学校の図工室と兼用することとしている。

・既設の北棟は，被服室を小中兼用とし，既設のコンピューター室および視聴覚教室を，それぞれ小学校用の理科室と音楽室としている。繋がる学びを促進するための教科教室を配置。

・新設の渡り廊下については２階と同様。

委員長　　　　　　Ｂ案も作っているが，先ほど却下されているので。理由はよく分かると思う。Ａ面の平面図・部屋構成についてご質問やご意見があればお願いしたい。

委　員　　　　　　限られたスペースの中にどれだけ教室を入れるかということと，それから小中の繋がりを考えて，配置も苦心されたのではと思っている。ただ一つ懸念するのは２階にアリーナがあって，１階に小３小４の教室があるということ。上で例えば縄跳びをするとかボールをつくとか，振動音がどれだけ下に影響があるのか。実際に本校３階で支援学級の子ども達が教室の中で縄跳びをすると，１階の校長室に十分響くので，防振・防音対策にお金をかける方がいいのか，上下をひっくり返す方がいいのかは考える所なのかと思った。また，今のこの段階でいくと小３小４の教室はほぼ西側からしか，南東の陽しか入らない。若干暗くなる。内廊下があって若干壁があって暗いのが心配。上下入れ替えるのが簡単。小３小４のスペース，もし２階を作るのであれば１年２年の所に横にしてあげると小３小４も南の方に上手くとれて少し明るくなる。可能かどうか分からないが。その分アリーナの上はいくらか屋根にしてしまう。

事務局　　　　　　２階に体育館を持ってくると確かに振動・音が心配されるが，十分な対策を考えたいと思う。小３小４を２階にするのは前期の生徒を１階にまとめることを考えている。それが離れてしまうのかなと思う。西日も検討の余地があるのかなとは思う。先ほど言われたように小１小２を持ってくるということはスペース的な問題もあるため，今後検討したいと思う。

委員長　　　　　　多分，小１小２の２階に小３小４を持ってこなかった理由は，建物がボリューム上がると嵩上げをした上に２階建てになるので校庭が影になるからと思う。北側なので。暗い日陰の校庭になるので，ここを平屋に抑えている。体育館が２階というのは今時の建築の構造では問題なく，私がびっくりしたのは上が体育館で下が特別支援学級のゾーンである。音に敏感な子達が体育館の下で本当に大丈夫なのか。それが，本当に大丈夫なのである。今の古い建物の基準で考えなくて全く大丈夫である。体育館上下入れ替え，３年生４年生を上に持っていくというのは検討の価値があるのかな。実際，日当たりの面というよりも中学年との交流とか図書室への調べ学習が増えてくる３，４年生位の図書活動とかがありえるのかと思った。

委　員　　　　　　職員室と低学年の遊び場があまりに離れていて大人の目が届かないことが心配である。

委員長　　　　　　職員室が離れることが。

教育長　　　　　　それも考えた。小学校の先生方の行動パターンをいろいろ想像して考えたときに，低学年の先生は教室におられる方が結構多いので，期待的な事も含めてというのが出たのだが，言われたらそうだなあと思いながら。

委員長　　　　　　教師ステーションみたいな物を作った方が。

教育長　　　　　　別室を２つ用意している。先生が待機しようと思えば出来るが，ここで仕事が出来るように府中学園の様な形にしているので，ここを居場所として活用して頂けたらなと思う。その辺は今後具体的な部分で詰めたい。

委員長　　　　　　ご意見として教員の目が行き届かないのではという心配があるということをいただいたので，また検討をお願いしたい。

委　員　　　　　　小学校の支援学級の部屋数が，今２部屋で考えられているが，支援学級の定員が８名ということで，今，金浦小には支援学級が２つあるが，それぞれ８人にだいぶ近い状態，さらに城見小，陶山小が一緒になると定員８人は必ず超えてくるということになると，知的と自閉情緒とそれぞれ２部屋ずつ合計４部屋ということになる。そうなった時に２階に特別支援の①②を入れて頂いていて，恐らく想像するに１階の別室①②の所を支援学級の学級数が増えたときにと，考えられている部分もあるのかなと思うが。ここは常時，支援学級として使うということになる可能性が高いので，そうなると長期欠席・不登校の子ども達を対応する別室を他の所にきちんと設けておく必要はないのかと思う。

それから別室は教室に行きにくい子達が行く部屋なので，教室のすぐ近くではなく少し離れた，すごく離れていると不便だが，教室とは離れた所にという方がいいのかなと思う。例えばこういう案はどうかなというのが，２階のアリーナの入り口の所に倉庫⑤がある。この倉庫⑤を，右側の便所の入り口の所へ持って行って別室にするということも方法なのかなと。便所の入り口は下側からでなくても左側から入るようにしてもいいのかなあと思うので，そういう回避の仕方はできないかというのが，１点。

それから２点目は小学校の理科室とか音楽室，特別教室が３階に来ている。小学生低学年は生活課なので理科ではないのだが，音楽室へという部分についても距離的にも離れていて，なおかつ１階から３階まで上がり下りすることがあるので，３階のこの位置にあるのはどうなのかなと思う。また，小学校の理科って実験観察，草花の観察とかも結構やるから，理科室からすぐ外に出て取ってきた植物をすぐ理科室で観察してというのがよくあるので，理科室などは３階ではなく１階に設置すべきではないかなと思うのが，２点目。

３点目だが，前回の会議の時に教育長が冒頭に述べた「笠岡ならではの特色」を出していく，その中身についてはいろいろあると思うが小中一貫の取り組みの中で地域だったり，今は主体的で対話的な深い学び，アクティブラーニングと言われているし，子ども達がこういうことを知りたい調べたいということで，子ども達発で学びを積み重ねていく，そして広げていく。そして学んだことを発信していくことが非常に大事になってくると思う。そうなった時に子ども達がいろんな調べ学習をしたいとか，調べたことをまとめてみたいとか，まとめたことをミニ発表会で発表してみるとか，そういう場が設けられているのが笠岡の特長と位置付けられてくる所になるのかなと思う。そうなったときに職員室，校長室の上のところ，２階部分が１階の屋根になっている。例えば，こういう広いスペースを今私が申し上げたようなことを，柔軟に子ども達がダイナミックに展開できるような部屋として使っていく，そしてすぐ隣には図書室もある，いろんな書物であったり，いろんな情報を図書室と行き来しながら調べていったり，そんなことができるようなスペースは是非特色としてある方がいいのではないかなと思う。

事務局　　　　　　特別支援学級については，仰るとおりである。今２つの部屋になっているが，必要諸室リストではパーテーションで分割となっており，対応ができるのかと思っているが，倉庫等もこれから必要に応じてどんな部屋にしていくのかも含めてあるのかな。別室の教室であるとかも含めて，どういう風に特別支援教室として，設計できるのか，ご意見を頂きながらと思っている。今，２部屋だけということではなくて本当に必要なんだということを踏まえて検討していきたいと思っている。１階屋根の上をダイナミックに使って特色ある部屋としてというところだが，そのようなところも実は考えてみたい。この場所がどうなるのかを思っているが，床面積のところで今の段階ではそこまでは難しいというところで，案としては１階屋根の上というのはない状態で計画している。ただそこのところが１部屋ということになれば仰った様に図書室一体型と考えられる非常にいい場所にはなるだろうなと思っているが。今の段階では難しいかなということで案を出させて頂いている。

事務局　　　　　　理科室については仰るとおり３階に小学生が移動するのは大変であるし，外にすぐ出れるように１階でと。できればそういう所に設置したいなとは思ってはいるが。ただ理科室は広さが必要なので，普通教室の広さでは設置できないと思うので，壁が取り払えないので。だからそういう広さがある所を探して，理科室としないといけないのかな。そうしたらどこにするかを検討しなければいけないのかと思う。

事務局　　　　　　今の既存の中学校の壁を抜くというのが構造上できない。そのため仕方なくこういう形になっている。１階に広いスペースが確保できればいいが，壁を抜くことができないというのが大きなハードルとしてある。言われることはごもっともであるが，こういう形で配置している。

委　員　　　　　　新しく建てる建物に，理科室とかは考える余地があるのではないか。

委　員　　　　　　今言われたように，小３小４が暗いので，小３小４の所に理科室，音楽室を持ってきて，小１小２の上に，小３小４を２階に持ってきて，今の３階の理科室，音楽室の所に離れた方がいい別室みたいなものをもってきたりしたら，教室と離れた所に不登校の子が行ったりすることができる。パズルみたいな感じだが。また考えて下さると思うが。

教育長　　　　　　たたき台をお示ししたのでご意見を頂きながら，その中で優先順位を付けさせて頂いて，簡単に言うと，お金が無尽蔵にあれば全部叶えたいのですが，その中で優先順位をつけていかなければいけない。今現在の物で４０億近く。

事務局　　　　　　中学校棟を直したりする分も含めて３７億。

教育長　　　　　　３７億，そういったことも含めながら優先順位を付けていきたい。ただアリーナを発表の場に使っていて，既存の枠を離れていろんな所を図書室もスペースをいっぱい作ることによって発表場所になったりするので，そういう風なイメージも持っていて，ただ確かに図書室と１階の屋根の上に部屋があればやり取りしやすい。学びが集約できるということもあるので，今はこうしますと言えないので。こちらの方で検討させて頂く。

事務局　　　　　　今の校舎の形は事務局が考えたものだが，業者が決まったらもっといろんなアイデアが出てきて，もっといい提案が出てくる可能性もあるので，その中で伺った意見をどこまでを盛り込んでいけるのかということになる。これはあくまでたたき台で，こういう教室は１階がいいとかそういう意見は出して頂いてそれを集約していきたいと思う。

教育長　　　　　　令和１０年度あたりの子ども達の数，今の見込みで言うと小学校が２８０名位。そのため，１クラスが２０何名の２クラス編制。中学校も当然２クラスみたいな形なので，確かに特別支援学級が２つでは足りない可能性が高いかなとは思っているので，少人数学級の活用具合が今，分からないので含めながら，ご意見として頂いたので検討させていただきたい。

副委員長　　　　　部屋をどうのこうのではなくて，中学校棟と北棟の１階に相談室①②がある。最近中学校もそうであるし，別室対応をしていかないといけないお子さん達が結構出てきている中で，今はこの相談室①のところを別室として使っている。そのあたりを中学校の別室という形で確保しておかないと，いろんな学びのスタイルが出てきている中では，必要なのかなと思うので，検討して頂ければ有り難いと思う。

委員長　　　　　　今，気になっていることを言って頂いて検討してもらう方がいいと思うので，どんどん発言してほしい。実現は難しい物もあると思うが，言わないと伝わらないので。私も別室は気になっていて，不登校，通いづらい子が安心して過ごせるスペースを相談室①②の横の小会議室とかいいなあと。あと発表の場というのはこれから先本当に必要なので，例えば１階の小１小２の周りの多目的スペースを細い所と太い所を作って，そこに発表の場を作って階段とか何か出来るんじゃないかと。昇降口とか階段と兼ね合わせたり。階段を座席に使ってホールがあってそこが発表の場になってというのは，オーストラリアでは多かった。

教育長　　　　　　北房に統合してできた一体型一貫校は，そのような感じである。

委員長　　　　　　そういうのは来年の基本設計というのが，業者を選定して，その中で新たな提案は出てくる。発表の場というのは本当に重要である。理科室は難しい。屋上とかと繋がっているといいが。都会は屋上の横に理科室がある。他にはどうか。発言のない方もおられる。感想か，なくても順番に，何か気になることとか質問，提案があれば言ってほしい。

委　員　　　　　　色々ご意見を聞かせて頂いて，最初見たときはいいなと思って，けれども，いろんな意見を聞いていて，別室はちょっと離れた所にあると行き易いのかなと。あまりみんなに会いたくない子ども達が別室になったりするので，ちょっと離れたところにあるといいのかなと意見を聞いて思った。３，４年生のクラスも暗いと言われていたので，明るい方がい　いのかなと思った。

委　員　　　　　　自分の子どもが小学校５年生で少し発達障害気味の所があるので，昨日も勉強に煮詰まったら涙が出てきて一人でクールダウンする場面があったのだが，これを見る限り４年生まではそういう対応が出来ているけれど，５年生以降は今のままなんだと思ってちょっと悲しくなった。先の中学校と合わせてクールダウンする部屋を，高学年でも中学生でもあったらいいんだろうなと思った。全然関係ないが，駐車場が今のあのスペースで何台くらい置けるのかなと思っていて。金浦小学校では，お迎えのお母さんが多い。２０台くらい毎日来ているので，そこに城見，陶山が来られたら，バスはあったとしてもどれ位毎日置けるスペースがあるのかが気になった所です。

委　員　　　　　　私も他の方の意見と同じで小学校３年生，４年生の教室は暗いという

のは気になる点かなと思った。別室ももう少し離れた所にもっていくと行き易くなるのかなあと感じた。

委　員　　　　　　私も先ほど皆様が言われたのと同じような意見である。自分の上の子どもも支援に行ったり，自閉症で低学年までは順調だったが，中学年から中学生にかけて，思春期で学校に行きたくなくなったりして教室が近いとみんなキラキラしている子を見るとしんどいみたいなのもあったりするので，校長先生が言われているのを聞いて，ちょっと離れている方のがいいと思った。

事務局　　　　　　先ほどの駐車台数の件について，まず屋内運動場の南側の方で想定しているのは，スクールバス５台と乗用車２５台，あと児童クラブの前のところに１６台位停められるのかなと思っている。

委　員　　　　　　保健室について，小学生と中学生が一緒に使うことになるので，実際小中一貫校をされている学校ではどのように中学生と小学生が使い，居場所的なところで，どういう風に使われているのか教えて頂ければと思う。

委　員　　　　　　保健室は多分養護の先生はお２人となると思う。例えば小学生と中学生みたいな形で分けている。または，１年生から４年生位までと，５・６年生と中学生みたいに，養護の先生が考えて分けている。府中学園の場合は入り口が別である。部屋は１つだが，こちらが小学生こちらが中学生という，入り口も別にして子ども達は入ってくる。ベットもいくつかあるが，区切って小学生と中学生が使っている。

教育長　　　　　　そんな感じも想定して広めには取っている。

委　員　　　　　　十分言わせて頂いたが，小学校３校が一緒になる，中学校が一緒になる。小学校３校が一緒になるにあたっては，いろんなお考えやらお気持ちの方々がおられる中で，新たに出来る学校がこういう校舎でよかったよねと思える形に最後まで何が何でも考える事は，非常に大事な事なのかとに思う。教育長に優先順位をつけてと仰って頂いて，そこは大事な観点かと思うが，予算的な事があったとしても最後までそこを考えきる。今日はいろんな意見を言わせて頂いたが，この後も色々考えていくことは出てくると思うので，是非言わせて頂ければと思う。

委　員　　　　　　府中学園学区にに行ったときに地域の皆さんとの交流の場，スペースがあった気がするのだが，今回そういう意味では展示コーナーがあるが，そういったスペースも考えてもらえたらいいなという気がする。エレベーターが気になるがこれは給食を運ぶエレベーターか，それとも　　人が乗れるものか。

教育長　　　　　　車椅子のお子さんもこれからは受け入れていかなければいけないので，人が乗るエレベーターである。

委　員　　　　　　例えば３階の理科室へ行く時にエレベーターを使えるということか。

教育長　　　　　　低学年で使うことも可能だが，ルールが必要となる。

委　員　　　　　　金小の校長先生が仰られた通りと私も思っている。地域との交流はおっしゃられた通りだと思っている。このあたりも十分検討して欲しい。

気になるのが中学校の校舎と新しく作る校舎との渡り廊下の関係，この表だけでは分かりにくいので，さっきエレベーターの話が出たが，どこの辺かピンとこないので，申し訳ない。

委　員　　　　　　最初に教育長から将来的に義務教育学校を目指すということを，今回初めてお聞きして嬉しいなと，本当にわくわくして話を聞かせて頂いた。本当に夢があると思う。私は今でも，府中学園が義務教育学校になって良かったなと思っている。今回いろんなご意見を出して頂いたと思うが，我々自身が９年間で子ども達を育てる学びの場という物をイメージして，いろんな話をしていかないといけないと。私も８年間，府中学園にいたのだが，元々は中学校籍である。そのため，どうしても中学校のところが頭にあって話をするということがよくあったのだが，それでは絶対にいけないなと。９年間で我々が目の前の子達をどう育てていくんだという，今の環境の中でさらにすばらしい学びを追求していく事になってくると。よくあるのは６年生の時に小学校ではこういうことをしたと，中学校ではこういう事をしたと言い易いが，そういう視点を持っているのも大切なのだが，なかなかそれを強く出していくと，９年間の学びという部分で見ていくというのがなかなか難しくなる。我々がそういう所で育っているから，どうしてもそういう視点になってくるのだが，是非ダイナミックな形で校舎を作っていくという新しい視点を，どう皆さんと一緒に見つけていくけるのかが，これから話題になればいいなと思っている。

それともう１つ最初言われたが，小学生が中学生を怖がるんじゃないかというようなことも心配されると聞いたが，私が府中学園にいて小学生が怖がっているとか，中学生が小学生を脅していたとか，怖がらせた話は一切聞いていない。どちらかというと中学生が優しくなる。間違いなく中学生が小さい子達をいろんな形で面倒を見てくれるし，もっと言えば職員よりも中学生の方が小さい子達と本当にうまく関わってくれていると思っている。是非，安心して，こういった学びの場をしっかり作って頂ければいいんじゃないかなという風に思う。

委員長　　　　　　皆さん，今日は非常にいろんな意見を頂いて，これがこれから先，検討していく資料になっていくので，ありがたく思う。今日お話を聞いて，それぞれに小学校１年生・２年生からの中学生９年間という義務教育学校という新しいスタイルなっていくのだが，９年間に子ども達が多様性，自分とは違う子達と出会い，ふれあう機会が明らかに今のままだったらない訳である。これは大きいことで，今のままだとない。その年齢年齢に合わせて設定していく。あらためてこの計画を作っていくのがすごい大事な重要なということをひしひしと感じた。

それでは案件は出尽くした様なので，各階平面図，必要諸室についても今日の皆さまからのご要望とかご意見を可能な限り反映させて頂くようにお願いして，次回の整備検討委員会で皆様にお示しできればと思う。以上で私は議長の職を退かせて頂く。

６　閉会（１５：５５）